

「死亡労働災害急増に係る緊急要請！！」

採石業の安全確保に向け労働災害防止を要請しました

鉱業（当局の災害統計上は「土石採取業・鉱業」と表記）における休業4日以上の労働災害は、毎年10件前後発生しており、特に、平成27年、28年においては災害件数が減少したものの、死亡労働災害を含めた休業2か月以上の労働災害の発生する率が製造業、建設業等と比べても非常に高く、人命を尊重した安全対策が喫緊の課題となっています。

このため、本年5月24日（火）に（一社）日本砕石協会栃木県支部（青木栄久支部長）に対し、労働災害防止の取り組みを徹底するよう労働局長から緊急要請を行いました。

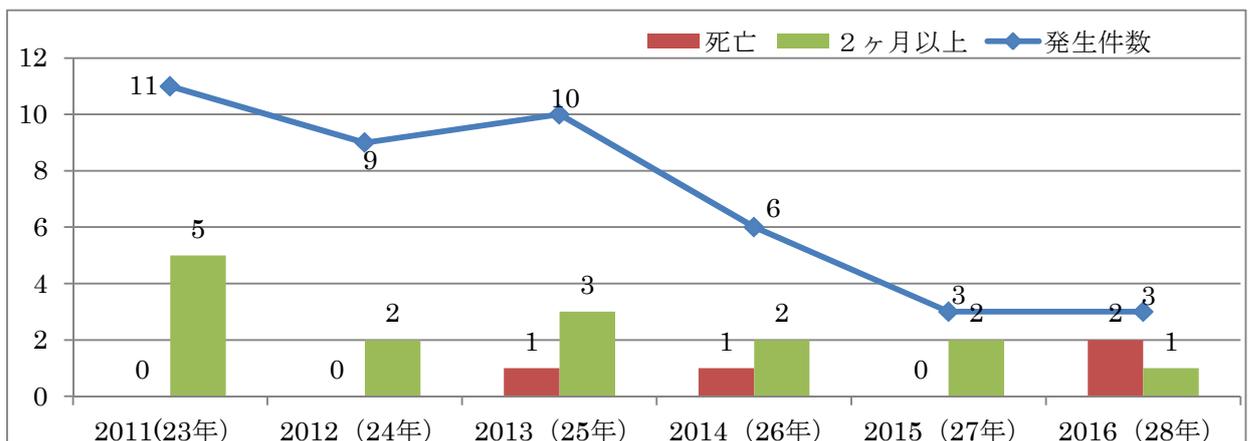


緊急要請書を交付

長岡労働基準部長（右）

（一社）日本砕石協会
秋元専務理事（左）

* 採石業における災害発生状況



* 死亡・重篤災害発生率

